※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　学　国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学　国際文化	（学）中国語文化Ⅱ	2	3	《新版》できる・つたわるコミュニケーション中国語

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、中国語を１年間学び終えた受講生を対象に、発展的な語彙や文法事項を段階的に学んでいく。授業では様々なタスクを通じて、「読む・聞く・話す・書く」の４技能をバランスよく身につけると同時に、中国の文化や歴史、社会事情等についても学び、中国及び中国語に広く親しむ。中国語検定試験に向けての対策も行う。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどの中国語の音声的な特徴に注意しながら聴解力のさらなる向上を目指す。	・説明や会話文などを読んで，情報や考えなどの概要をとらえことができる。 ・中国語の語順・基本文型などをマスターし、読解力のさらなる向上を目指す。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・リズムやイントネーションなどの中国語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら他者と対話できる力涵養することができる。	・簡単な語句や文を用いて自分のことを紹介できる ・身近なトピックや出来事について既習の語彙・表現を使って自分の意見を述べることができる。 ・リズムやイントネーションなどの中国語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら発表ことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書くことができる。 ・中国語の語順・基本文型などをマスターし、内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる知識・技能を身に着けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	コミュニケーションを行う場所・目的・状況などに応じて日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝えあったりしている。	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら主体的に自分の意見や考えなどを話したり書いたりしてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	第 12 課 行き方を尋ねる 検定試験対策	聞くこと	a: 身近な会話（行き方を尋ねる）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な会話（行き方を尋ねる）から、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な会話（行き方を尋ねる）から、話の要点をとらえようとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法（疑問視「どうやって」「どのように」、選択疑問文、前置詞など）のポイントを理解し、会話を理解することができる。 b: 身近な会話（行き方を尋ねる会話）について 内容を理解し、要点や概要を伝え合うことができる。 c: 身近な会話（場行き方を尋ねる会話）について 内容を理解し、要点や概要を伝え合おうとしている。	小テスト
		話すこと （発表）	a: 身近な話題（行き方を尋ねる会話）について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題（行き方を尋ねる会話）について、やり取りを続けることができる。 c: 自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	小テスト 授業の取り組み
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査
	中間考査			
	第 13 課 経験を尋ねる 復習 3 （第 9～13 課） 第 14 課 相手の都合を尋ねる	聞くこと	a: 身近な会話（経験を尋ねる、相手の都合を尋ねる会話）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な会話（経験を尋ねる、相手の都合を尋ねる会話）から、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な会話（経験を尋ねる、相手の都合を尋ねる会話）から、話の要点をとらえようとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法（時量補語、経験を表す「過」、助動詞など）のポイントを理解し、会話を理解することができる。 b: 身近な会話（経験を尋ねる、相手の都合を尋ねる会話）について内容を理解し、要点や概要を伝え合うことができる。 c: 身近な会話(経験を尋ねる、相手の都合を尋ねる会話)について 内容を理解し、要点や概要を伝え合おうとしている。	小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 身近な話題（経験を尋ねる、相手の都合を尋ねる会話）について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題（経験を尋ねる、相手の都合を尋ねる会話）について、やり取りを続けることができる。 c: 自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	小テスト 授業の取り組み
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査
	期末考査			
2	第 15 課 比較する 第 16 課 条件・情報を尋ねる	聞くこと	a: 身近な会話（2 つの物を比較する、条件・情報を尋ねる会話）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な会話（2 つの物を比較する、条件・情報を尋ねる会話）から、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な会話（2 つの物を比較する、条件・情報を尋ねる会話）から、話の要点をとらえようとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法（比較を表す「比」、反復疑問文、動詞の重ね型など）のポイントを理解し、会話を理解することができる。	小テスト

※令和４年度以降入学生用

			b: 身近な会話（2 つの物を比較する、条件・情報を尋ねる会話）について 内容を理解し、要点や概要を伝え合うことができる。 c: 身近な会話（2 つの物を比較する、条件・情報を尋ねる会話）について 内容を理解し、要点や概要を伝え合おうとしている。	
		話すこと（やり取り）	a: 身近な話題（2 つの物を比較する、条件・情報を尋ねる会話）について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題（2 つの物を比較する、条件・情報を尋ねる会話）について、やり取りを続けることができる。 c: 自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	小テスト 授業の取り組み
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査
	中間考査			
2	第 17 課 進行状況を尋ねる 第 18 課 別れを告げる	聞くこと	a: 身近な会話（進行状況を尋ねる、別れを告げる会話）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な会話（進行状況を尋ねる、別れを告げる会話）から、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な会話（進行状況を尋ねる、別れを告げる会話）から、話の要点をとらえようとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法（動詞の進行を表す副詞「在」、結果補語、変化を表す「了」など）のポイントを理解し、会話を理解することができる。 b: 身近な会話（進行状況を尋ねる、別れを告げる会話）について 内容を理解し、要点や概要を伝え合うことができる。 c: 身近な会話（進行状況を尋ねる、別れを告げる会話）について 内容を理解し、要点や概要を伝え合おうとしている。	小テスト
		話すこと（発表）	a: 身近な話題（進行状況を尋ねる、別れを告げる会話）について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題（進行状況を尋ねる、別れを告げる会話）について、やり取りを続けることができる。 c: 自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	小テスト 授業の取り組み
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査
	期末考査			
3	復習 4 （第 14～18 課） 自己紹介文を書く	聞くこと	a: 既習の文法事項を踏まえて身近な会話から、必要な情報を聞き取ることができる。 b: 既習の文法事項を踏まえて身近な会話から、話の要点をとらえることができる。 c: 既習の文法事項を踏まえて身近な会話から、話の要点をとらえようとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法のポイントを理解し、会話を理解することができる。 b: 身近な会話について 内容を理解し、要点や概要を伝え合うことができる。 c: 身近な会話について 内容を理解し、要点や概要を伝え合おうとしている。	小テスト
		話すこと（やり取り）	a: 身近な話題について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題について、やり取りを続けることができる。 c: 自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	小テスト 授業の取り組み
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態	自己紹介カード

※令和４年度以降入学生用

			度が見られる。	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度